

杉並区交流自治体 忍野村から観光案内が届きました

忍野村は、山梨県の南東部、富士北麓に位置する人口約9,800人の村です。周囲を山々に囲まれた標高約900mの高原盆地で、夏場は避暑地として、多くの観光客が訪れています。そんな観光地としても知られる忍野村のおすすめスポットをご紹介します。

まず外せないのが「忍野八海」です。富士山の伏流水を水源に発する湧水池です。その名の通り、八つの池であり、それぞれ「出口池」、「お釜池」、「底抜池」、「銚子池」、「湧池」、「濁池」、「鏡池」、「富浦池」といいます。その水の美しさは然る事ながら、かつては富士修験者の水行の霊場であり、その後、江戸時代に隆盛を極めた民間信仰である富士講行者の巡礼地として、大きく賑わいました。「形状、水質、水量、保全状況、景観、仏教思想（富士信仰）など」の観点から1934年に国の天然記念物、1985年に環境庁から名水百選、1994年に県新富岳百景選定地、2013年には世界文化遺産の構成資産に登録されました。神秘的で清澄な池の水は、夏は涼しさを、冬は心を引き締めてくれます。

次は昨年9月にオープンしたばかりの「二十曲峠展望テラス SORA no IRO」です。忍野村東部内野地区の農村地帯を抜け、峠道を上るとウッドデッキが見えてきます。ここが二十曲峠展望テラス SORA no IROです。かねてより「関東の富士見百景」に選定され、富士山のビュースポットとして知られていた二十曲峠ですが、新たに横幅約50mにもなる張出型の透明なウッドデッキや、ハンモックを整備設置しました。峠の上の静かな場所で幅広い年齢層の方々にゆっくりと富士山を楽しんでいただけるような施設となっております。

その他にも、忍野村の自然や文化等が学べる落ち着いた空間を提供する「森の学習館」や日本にもあまりない淡水魚専門の「山梨県立富士湧水の里水族館」、寒暖差の大きな忍野村だからこそ採れる甘くておいしい「とうもろこし」など様々な魅力がたくさんあります。是非お越しください。 忍野村役場 観光産業課 主事 田所 康平



忍野村湧池



忍野村テラス

Event Information from SACE 交流イベント情報

	開催時期	イベント名	イベント内容	開催時間	場所
4月	4/17(月)	小千谷ふるさと市場	小千谷市の特産品販売	10:00 ~ 14:00	杉並区役所中杉通り入口前
	4/19(水)	南伊豆町観光物産展	南伊豆町の特産品販売と伊勢海老の味噌汁試食サービス(11時から)	10:00 ~ 14:00	杉並区役所中杉通り入口前 コミュかるショップ前
	4/23(日)	おぢやフェア	小千谷市の特産品販売	11:00 ~ 13:30	小千谷学生寮
5月	5/22(月)~5/26(金)	まるごと北塩原展	村内の写真等の展示	8:30 ~ 17:00	杉並区役所2階区民ギャラリー
	5/25(木)~5/26(金)	北塩原村初夏の物産展	特産品等の販売と観光PR	9:30 ~ 15:30	杉並区役所中杉通り入口前
	5/28(日)	おぢやフェア	小千谷市の特産品販売	11:00 ~ 13:30	小千谷学生寮
	5/29(月)~6/2(金)	名寄市写真展	名寄市風景写真の展示	8:30 ~ 17:00	杉並区役所2階区民ギャラリー
	5/31(水)~6/2(金)	アスパラまつり	名産産グリーンアスパラ等の販売	10:00 ~ 14:00 ※最終日13:00まで	杉並区役所中杉通り入口前
6月	6/5(月)~6/9(金)	忍野村写真展	山梨県忍野村富士山写真展	8:30 ~ 17:00(初日12:00から、最終日15:00まで)	杉並区役所2階区民ギャラリー
	6/19(月)	南伊豆町観光物産展	南伊豆町の特産品販売と伊勢海老の味噌汁試食サービス(11時から)	10:00 ~ 14:00	杉並区役所中杉通り入口前 コミュかるショップ前
	6/22(木)	吾妻の朝市	東吾妻町の特産品販売	10:00 ~ 14:00	杉並区役所中杉通り入口前
	6/23(金)	南相馬市物産展	南相馬市の特産品販売	10:00 ~ 14:00	杉並区役所中杉通り入口前
	6/25(日)	おぢやフェア	小千谷市の特産品販売	11:00 ~ 13:30	小千谷学生寮

※物産販売はいずれも雨天実施。売り切れ次第終了となります。マイバッグ(買い物袋)をご持参ください。新型コロナウイルス感染症の状況により、中止となる場合がございますので、ご注意ください。 問合せ: 杉並区役所文化・交流課交流推進担当 ☎03-3312-2111 (代表)

交流協会の会員になりませんか? 杉並区交流協会では、国内・国際交流の推進をはかるために、様々なイベントを企画しています。あなたも会員になって、楽しく交流しませんか?

- | | | |
|--|--|---|
| <p>年会費</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人会員 1,000円/年 (9月以降入会の場合は初年度に限り500円) 法人会員 20,000円/年 <p>会員期間</p> <p>入会の月から3月31日まで(当年度末)</p> | <p>会員特典</p> <ol style="list-style-type: none"> イベントの情報や交流に関する情報紙「交流ニュース」などをお届けします。 協会が実施するイベントに優先的に参加できる会員枠があります。 イベント参加費に会員割引があります。 | <p>申込方法</p> <p>入会希望の方は杉並区交流協会まで申込書類をご請求ください。</p> |
|--|--|---|

すぎなみ交流ニュース

第68号

2023年4月

Suginami Cultural Exchange News

스기나미 교류 소식

杉並的交流消息

発行: 一般財団法人 杉並区交流協会
[Suginami Association for Cultural Exchange(SACE)]
〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル5階
[Minami-Asagaya Bldg. 5F 1-14-2 Asagaya-Minami, Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan]
TEL.03-5378-8833 FAX.03-5378-8844 E-mail: info@suginami-kouryu.org

<https://suginami-kouryu.org/>

◆年4回発行◆ 協会情報誌は区内施設窓口、区内の駅広報スタンドなどに置いてあります。

目次

外国人による日本語スピーチ大会 2

外国人のための無料専門家相談会実施報告「子ども日本語教室」が1月末から始まりました 3

忍野村観光案内 交流イベント情報 交流協会の会員になりませんか? 4

HP・Facebook 随時更新!!

2023年度 杉並区交流協会の主な事業予定

主催する事業		区・他団体との連携事業	
5月27日(土)	外国人のための杉並ウォーキング	6月/9月/10月/3月	区交流自治体へ阿波おどり団派遣
6月	やさしい日本語講座	11月上旬	台湾雑技団の来日
11月	まるごと台湾フェア	12月	中学生親善野球大会(台湾開催)
12月16日(土)	海外文化セミナー ブルガリア	通年	子ども日本語教室(小学生・中学生)
2024年2月17日(土)	外国人のための無料専門家相談会	※詳しい情報は、協会のホームページにてご確認ください。	
2024年3月9日(土)	第21回 日本語スピーチ大会		
通年	外国人サポートデスク		

コミュかるショップからのお知らせ

杉並区役所1階のコミュかるショップでは、年間を通じ、定期的なフェアを開催しています。フェアでは、普段販売していない商品も数多く店頭並びます。販売と同時に品切れとなる商品もありますので、フェア開催時はお早めにお立ち寄りください。



2023年度フェア開催予定

- 4月上旬 **なみすけフェア** (なみすけグッズなどを販売)
- 7月上旬 **サマーフェア** (カレースライスなどを販売)
- 10月上旬 **なみすけフェア** (なみすけグッズなどを販売)
- 12月上旬 **名寄もちフェア** (名寄市のおもちを販売)
- 3月上旬 **南相馬市応援フェア** (南相馬の特産品を販売)

ショップの営業時間

AM9:00 ~ PM4:30(月~金)
※月末は棚卸しのため 9:00 ~ 12:30
※土日祝日・年末年始をのぞく

※2023年7月から12月まで杉並区役所中棟ロビー天井の軽量化工事が予定されています。その間コミュかるショップは通常営業しておりますので、ぜひご利用ください。

第20回 外国人による日本語スピーチ大会

【2023年3月4日 13:30~17:00 於：杉並区役所中棟6階 第4会議室】

第20回目の外国人による日本語スピーチ大会が3月4日に行われました。9か国・地域の11人の発表者に加え、荻窪にあるエベレスト インターナショナルスクールジャパンの小学生、中学生の2人もゲストスピーチを行いました。遠い国を身近に感じたり、改めて日本の良さを実感する内容のスピーチが盛り山でした。審査はスピーチの内容とテーマ、構成、言語能力、アピールや態度から採点されました。受賞者とスピーチ内容および筆者の感想を紹介します。(広報T・I)



区長ご挨拶



エベレストインターナショナルスクールの小中学生



日本語スピーチ大会参加者の皆さん



津軽三味線の演奏 北村姉妹



※〈最優秀賞〉金 ヒョンリョン 金 炫伶さん「日本のお弁当文化」

ご主人のお仕事の関係で4か月前から東京で暮らし始めた金さんは5歳と2歳の娘さんのお母さん。母国韓国での心理カウンセラーのキャリアを中断し、お子さんたちが日本の幼稚園に馴染むかを心配しての来日でした。なかでも、キャラ弁と呼ばれる日本のお弁当が作れるかも不安の種の1つでした。しかし、お弁当作りを通じて子どもたちとコミュニケーションをとり、成長を感じていると締めくくりました。

※〈優秀賞〉林 ショウジョ 林 秀如さん「日本での10年間の生活」



婚され、5つ星ホテルで正社員として働くことも決まっています。阿佐ヶ谷パールセンターでの買い物、台湾フェアや神社等の行事も楽しみながら参加されているようで、日本に溶け込んでいる姿が目に見えます。

トップバッターとして発表された林さんは親日家のお爺様の影響もあり、台湾の大学で日本語を専攻していたとのこと。日本での生活を夢見て母国で働き貯金をし、日本へ留学という形で来日しました。現在は結婚され、5つ星ホテルで正社員として働くことも決まっています。阿佐ヶ谷パールセンターでの買い物、台湾フェアや神社等の行事も楽しみながら参加されているようで、日本に溶け込んでいる姿が目に見えます。

※〈優秀賞〉バゲニ サルタクさん「ネパールと日本の違うところ」



インドとの国境近くの町バイラクでは、東京のようにビルやショッピングセンターや電車がなく、故郷の人は外国に働きに出ることが必要とスピーチをしました。若い人の力で国を変えたい、また高校を卒業したらビジネスの勉強をしネパールでお寿司のチェーン店を展開したいと力強く述べました。インタビューでは「受賞後の感想は考えていなかった」と笑いを誘う場面もありました。

インドとの国境近くの町バイラクでは、東京のようにビルやショッピングセンターや電車がなく、故郷の人は外国に働きに出ることが必要とスピーチをしました。若い人の力で国を変えたい、また高校を卒業したらビジネスの勉強をしネパールでお寿司のチェーン店を展開したいと力強く述べました。インタビューでは「受賞後の感想は考えていなかった」と笑いを誘う場面もありました。

※〈特別賞〉孫 ジギョク 孫 蘭玉さん「軽井沢の警察にありがとう」



孫さんは、軽井沢で自転車もなく警察にお世話になった出来事を発表されました。実際、自転車は盗まれたのではなく自分の勘違いだったのですが、長時間に渡り一緒に探してくれた警察官に感謝の言葉を述べました。

50歳を過ぎてからの日本語学習、中国では医科大学で解剖学教授をされていた孫さんは現在86歳、勇気をもって参加された事に敬意を表したいです。孫さんは、軽井沢で自転車もなく警察にお世話になった出来事を発表されました。実際、自転車は盗まれたのではなく自分の勘違いだったのですが、長時間に渡り一緒に探してくれた警察官に感謝の言葉を述べました。

※〈特別賞〉トラチアク クセーニヤさん「選べる家族」



今大会では一番日本から遠い国のベルラシ出身のトラチアクさんは、温かい6人家族での生活から、日本では1人暮らしとなりました。来日当初は知り合いもなく寂しい日々だったようですが、今では友達も増え、逆に1人でゆっくり家で休みたいこともあるとのこと。どのように知り合いを増やしていくかなど、国内にいても参考になりそうなスピーチでした。

今大会では一番日本から遠い国のベルラシ出身のトラチアクさんは、温かい6人家族での生活から、日本では1人暮らしとなりました。来日当初は知り合いもなく寂しい日々だったようですが、今では友達も増え、逆に1人でゆっくり家で休みたいこともあるとのこと。どのように知り合いを増やしていくかなど、国内にいても参考になりそうなスピーチでした。

外国人のための無料専門家相談会 実施報告



開催日時：2023年2月18日(土) 13:00~16:00 会場：杉並区役所中棟6階 第4会議室

相談者数 16人

相談件数 21件

共催：杉並区 (一財)東京都つながり創生財団

国籍	
国名	人数
中国	3
日本(帰化、フィリピン、モンゴルルーツ)	3
ウクライナ	2
フィリピン	2
ドイツ	2
オランダ	1
アメリカ	1
オーストラリア	1
韓国	1
総数	16

専門家別対応件数	
専門家	件数
弁護士	3
行政書士	10
社会保険労務士	2
税理士	5
臨床心理士	1
総数	21

相談内容別件数	
カテゴリー	件数
在留資格・ビザ	9
税金	5
相続	2
介護保険料(社労士、弁護士)	2
労働時間	1
その他	2
総数	21

都内の自治体等でリレー開催している無料相談会。杉並区では事前予約制で開催し、16人の相談を受け付けました。

専門家

弁護士、行政書士、社会保険労務士、税理士、臨床心理士/公認心理士

通訳ボランティア

4言語

英語、中国語、韓国語、ウクライナ語

「子ども日本語教室」が1月末から始まりました

前号の『交流ニュース』で「子ども日本語学習支援ボランティア養成講座」を紹介しましたが、この養成講座を受講したボランティアたちの協力で、1月25日から「子ども日本語教室」が始まりました。

日本語を母語としない小中学生の日本語学習については、これまで教育委員会が各校に120時間の枠内で訪問指導・補充指導を行い、支援してきました。しかし、時間が足りない、順番待ちなどの課題があり、子ども日本語教室はそうした子どもたちへの支援を充実させるために、交流協会と区、日本語教育専門家の三者が連携し、ボランティアとともに実施していくことになりました。これは、杉並区基本構想を貫く3つの基本的理念のひとつ「認め合い 支え合う」地域社会を築くことにつながります。

教室では7か国・18人の生徒とボランティア26人が1対1を基本に、毎週2日、午後4時から6時まで、教科につながる日本語学習支援をしています。4月からは中学生を対象として教科も学べる教室が済美教育センターで始まります。

教室を見学すると、勉強にあきてしまったり、動き回ったりしたくなる子どもたち(特に低学年は)いましたが、ボランティアの皆さんは、とても根気強く、優しく、熱心に接していました。

教室で日本語教師を担う田代奈緒子先生によれば、日本語を母語としない子どもたちには特有のつまづきがあるとのこと。学校の中で日本語を話せない子、話せても授業を理解できない子がいて、学校の先生たちも気にはかけているものの対応の難しい部分がある。田代先生の役割は、「そうしたつまづきをサポートし、ボランティアと子どもたちが伴走できるよう声掛けすることで、子どもたちがこの教室に継続して通ってきているのは、自分たちの困りごとに向き合い待っている大人たちがいる、という居心地の良さを感じているからだろう。子どもたちが日本語を使って考え、自分のことを話せるようになるために、どうしたらより良くサポートできるか見つけていきたい」と熱く語っておられました。(広報S)



ボランティアとペアで学習



保護者も見学できます



季節のおそび体験